

## 普及活動情勢報告（令和5年8月分）

高吾農業改良普及所

### 新高梨の適期収穫に向けて～黒岩地区で勉強会を開催



7月20日、黒岩梨生産組合研究会が勉強会を開催し、生産者18名が参加しました。

近年、温暖化により梨の収穫適期が早まり、収穫遅れによるみつ症の発生が増加していることから、今年の生育状況や積算温度をもとにした収穫時期の目安、みつ症対策等について普及所から説明を行いました。

生産者からは、“みつ症対策”で行う散水方法や台木について質問があり、“みつ症対策”に関する関心の高さが伺えました。

普及所は、今後も個別巡回や果実分析を通して情報提供を行い、梨の生産安定を図っていきます。

### トマト新規就農者の早期経営安定に向けて ～促成養液トマトの個別巡回指導を実施～



日高村で促成養液トマトを初めて栽培する新規就農者2戸が8月3日から5日にかけて定植を行いました。普及所は、定植前にはほ場の準備が計画通りにできているか確認を行うとともに、定植後の生育に応じた栽培管理について個別巡回を行いました。生産者からは「かん水量や給液ECはこのままでよいか」「遮光はどのタイミングで行えばよいか」等の質問があり、栽培技術向上への関心を示していました。

普及所は、個別巡回指導や週1回のミーティングを引き続き行い、新規就農者の早期経営安定に向けて支援していきます。

### 地域を守る取り組みに向けて ～集落営農塾の開催～



8月4日、普及所は町村担当者を対象に集落営農活動や耕作条件の改善のための圃場整備等の推進について意見交換などを行う集落営農塾を開催しました。

町村から地域計画の取り組みと集落営農活動の状況についての話の後、専門技術員からの集落営農の主旨や推進方法についての説明を受け、これをもとに意見交換を行いました。

この中で、現在は地域計画策定という地域で話し合う機会があることから、その中で集落営農や基盤整備の話が出たら、それをきっかけとして取り組みを進めていくといった方向性を町村と共有しました。

普及所は、引き続き町村と連携して、地域農業の振興に向けた集落営農などの取り組みを進めていきます。